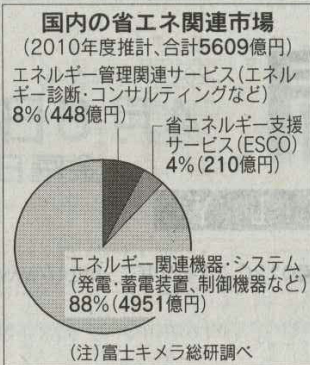


企業の節電、支援拡充

日立ソリューションズは情報機器の管理システムにサーバーを監視して電力の使いすぎを知らせる機能を追加した新製品を投入する。東日本大震災や原子力発電所の事故で企業の電力不足への懸念が高まっていることに対応する。店舗設計のラックランドは食品陳列棚向けの発光ダイオード（LED）照明を開発するなど、企業向けの節電支援ビジネスを強化する動きが広がってきた。



日立ソリューションズ サーバーも監視・警告 ラックランド 食品陳列棚にLED 日本テクノ スマートメーター販促

日本テクノは、スマートメーターの導入を支援する



政府は今夏の電力不足をにらみ電力需給対策を打ち出す方針。大口需要家にピーク時に瞬間最大電力を平年より25〜30%削減するよう求めるほか、小口需要家にも20%の節減目標を設ける。企業が日常業務継続にとつ

て省エネ対策が喫緊の課題になっている。

日立ソリューションズはオフィスのパソコンなど情報機器の稼働状況を監視し異常を通報する従来システムを改良する。稼働していないパソコンの電源を遠隔操作で切断する機能にサーバーの消費電力の監視機能も加える。このほど企業への提案活動を開始した。

コンセントとサーバーの間に監視機器を設置し、設定値以上に電力を使っている場合に管理者にメールなどで警告する。消費電力量を部署単位で把握でき、企業の節電計画立案に役立つ。ラックランドはサーバーマーケット向けに食品陳列棚の節電照明を開発した。省電力につながる発光ダイオード（LED）

照明を活用。白い光が強いLEDを使いつつ生鮮食料品の自然な色を引き出すため電流の流し方に加減を工夫した。従来の蛍光灯に比べ年間の消費電力量を半減できる。

月々の環境装置受注額を発表

環境装置受注額31%増 2月、2ヵ月ぶりプラス

2011年2月の環境装置受注額
(産機工調べ、単位百万円、カッコ内は前年同月比増減率、▲は減)

▽需要別			
民間需要	16,915	(271.3)	
製造業	4,524	(31.7)	
非製造業	12,391	(1006.3)	
官公需	20,862	(▲10.4)	
輸出	2,039	(▲13.6)	
▽機種別			
大気汚染防止装置	14,233	(397.1)	
水質汚濁防止装置	20,479	(32.4)	
ごみ処理装置	5,002	(▲55.9)	
騒音振動防止装置	102	(▲80.3)	
▽合計	39,816	(31.9)	

69億1500万円。非製造業は電力向け排煙脱硫装置や脱硝装置で大型受注があり同11倍に増えた。製造業は鉄鋼向けなどの産業廃水処理装置が好調で同31.7%増えた。官公需は都市ごみ処理装置の不振で同10.4%減。輸出は下水汚水処理装置がふるわなかった。

本テクノ（東京・新宿、馬本英一社長）は年内に営業要員を現在より2割増やし3000人体制にする。電力使用量を逐次把握できるスマートメーター（次世代電力計）の新規契約件数が3月に約400件と過去最高を更新しており、急ピッチで採用される。

調査会社の富士キメラ総研（東京・中央）の推計によると2010年度の国内の省エネ関連市場は5609億円と09年度比23.7%増。東日本大震災による電力不足を受け一段と需要が増えると思われる。